

## 江戸しぐさ

百五十年前の江戸は、政治・経済、様々な情報の中心地でした。国の中心地で暮らす江戸商人は異国や地方から来る人に対して、失礼や過ちをしないこと、仲良く生きていけるスマートな手本を示すしぐさに自負と誇りがありました。

最近、他人に迷惑をかけていても気にしない独善的な人も増えてきました。無知な赤ん坊から育てられた私たちは、親や家族から、様々な人から躰(しつ)けられてきました。私たちの体に染み込んでいるDNAとなつて眠ったままになつていく躰が「江戸しぐさ」に通じていることに気づいて欲しいと思います。

往來での江戸しぐさを挙げると、雨の日に道で擦れ違ふ時、相互に傘を外に向けて傘がかからないようにする「傘かしげ」、狭い道で行き交う時、相互に右肩(右腕)を後ろに引いて胸を合わせる「肩(腕)引き」があります。足を踏まれた時、踏んだ方はもちろん謝り、踏まれた方も「うかつでした」と謝つて、トラブルを避けるのが江戸商人の基本的な知恵でした。

江戸しぐさには、互助共生の精神と自立して対等に生き生きと誇りを持って生きる精神が宿っています。気持ちよく笑顔で暮らす社会環境の基盤になるものです。「人にして気持ちいい、してもらつて気持ちいい、傍目に気持ちいい」江戸しぐさを実践しましょう。

## ◎今月の言葉

若いとき流さなかつた「汗」は年老いて「涙」となつて流れる。

○語彙力チェック

①次の( )に適切な語を選んで入れよ。

Aこれは( )で決して悪意はありません。

B彼は他人の( )を捉える傾向がある。

C肝心な点については( )人が多い。

A言葉じり イ言葉の綾 ウ言葉を濁す

②「悟入」と関係の深い言葉はどれか。

A真理 B 武士道 C 気合

③「小咄(ばなし)」と同じ意味の言葉は次のどれか。

A 噂話 B 一口話 C 子ども達の話

④「誤謬(ごびゅう)」を平易な言葉で言い換えよ。

A まちがい B 大胆 C 急患

(解答) ① A イ B ア C ウ ② A ③ B ④ A